

自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに JA 岡山西は総合事業を展開します

農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの話し合いを深めます。
そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

JA は、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農畜産物の販売や、信用事業（JA バンク）、共済事業（JA 共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方でも、JA 各事業をご利用して頂いている方を、JA の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JA の経営基盤が安定し、営農指導員の配置や農業施設への投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JA の総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

これらのことを踏まえ、JA 岡山西は次のとおり総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けてさらに取り組んでまいります。

1. 担い手農業者への支援【農業資金残高：14億1千万円】

担い手農業者への訪問活動や各種イベントでの相談コーナーの設置により資金ニーズを把握し、農業金融情報や必要な農業資金を提供してまいります。

2. 生産コスト低減に向けた取り組み【還元累計額：3億3千万円】

担い手農業者の生産コスト低減に向け、予約肥料・農薬・果樹苗木、出荷資材・加温燃料の購入者に対する助成を実施いたします。

3. 管内の農畜産物の消費拡大に向けた取り組み

特産品かわら版（フリーペーパー）を発行し、当 JA 内外へ管内の農畜産物の魅力を発信するとともに、直売所の活性化にも取り組み、安全・安心な地元農畜産物の消費拡大への取り組みを強化します。

4. 営農指導事業の取り組み

担い手農業者の多様なニーズに応えるため、相談・指導機能を充実します。

○アグリセンターでの簡易土壌診断に基づく土づくりの提案・指導

○タブレット端末機を活用した動画による技術指導

○営農専任指導員による栽培講習会等の開催や資材店舗等での営農相談